

# ドミニカ共和国 日系人実態調査報告書

昭和61年 9 月

国際協力事業団

608  
234  
IMP  
LIBRARY

移 計 調

J R

86 - 10



JICA LIBRARY



102029510J



ドミニカ共和国  
日系人実態調査報告書

昭和61年9月

国際協力事業団

國際協力事業団		
受入 月日	'87. 1. 12	608
登録		234
No.	15719	EMP

## ま え が き

移住者実態調査は、邦人移住者の実態を全体的、体系的に把握するため、昭和55年度から逐次実施している。

ドミニカ共和国事務所では、これを踏まえ、各地区移住者諸団体等のご協力を得て、昭和60年度において全ドミニカ共和国の日系人について調査、集計、分析し実態を明らかにした。本資料はそれを印刷に付したものである。

今後の在ドミニカ共和国邦人移住者に対する援助等にかかる基本データとして重要なものと思われるので、参考資料として活用願えれば幸いである。

昭和61年9月

移住事業部長

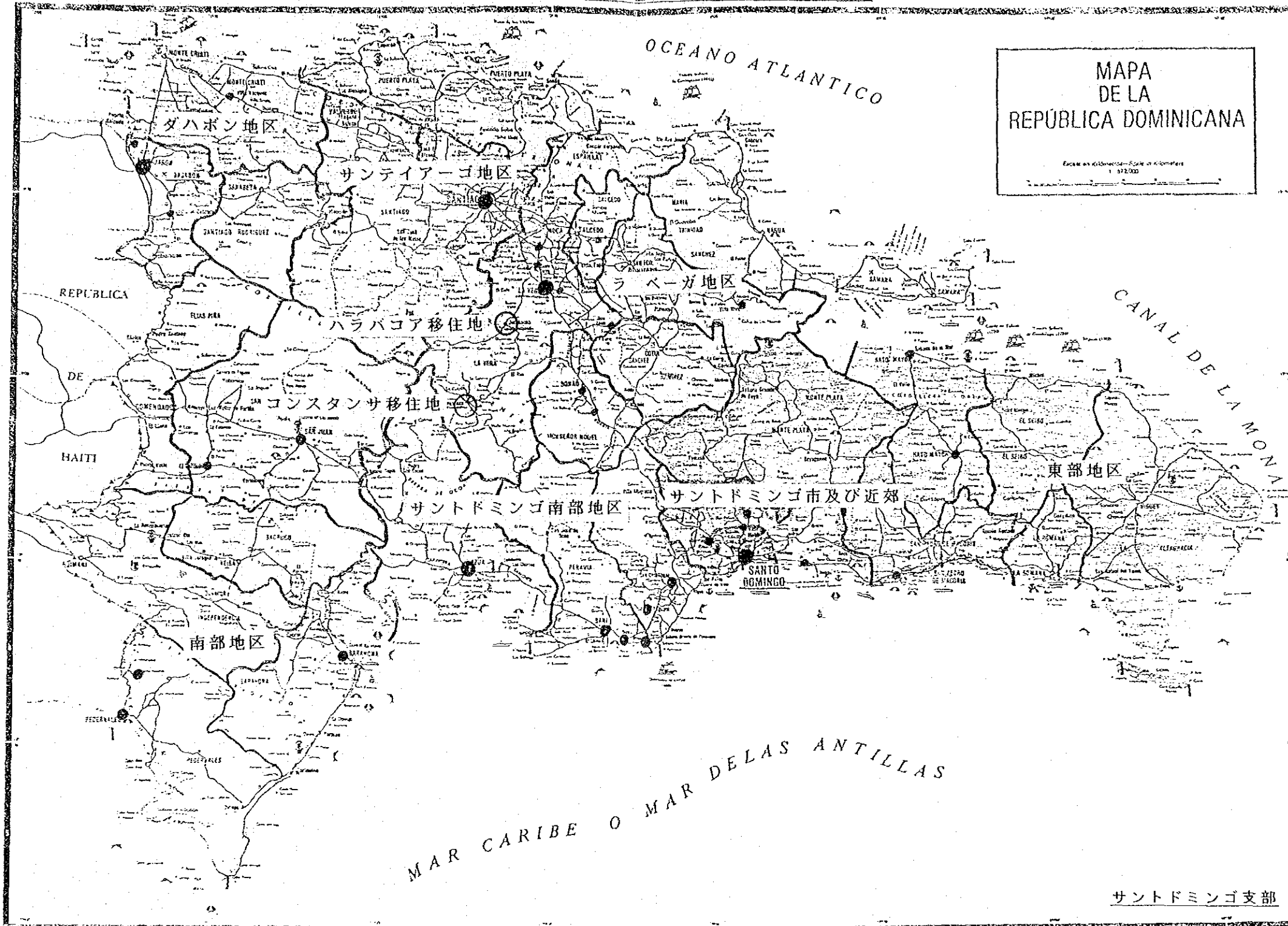




# 目 次

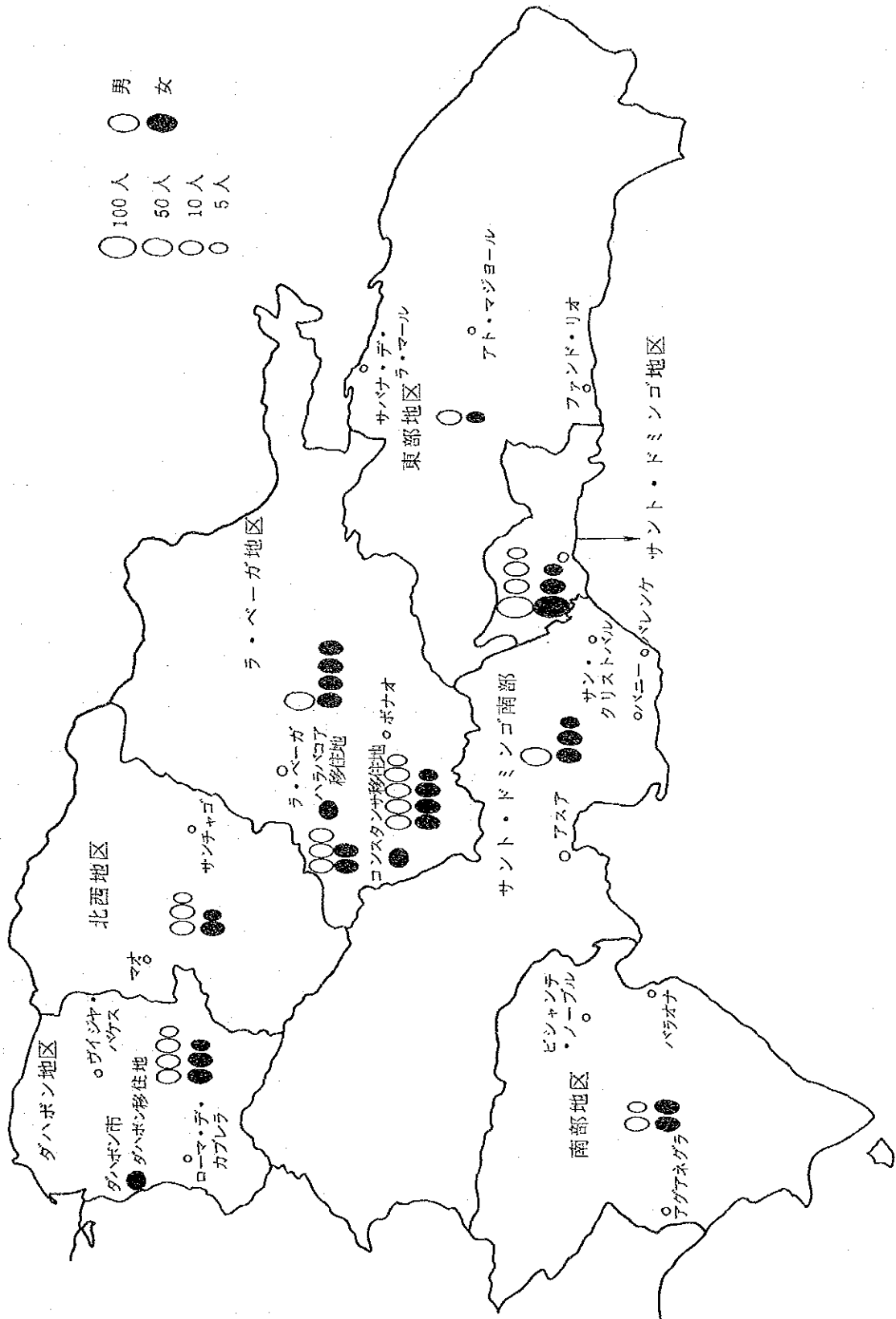
I	日本人のドミニカへの移住の歴史	1
II	調査の概要	2
1.	調査目的	2
2.	調査方法	2
3.	調査地域	2
4.	調査時期	2
5.	調査機関	2
6.	調査事項	3
III	地域の概況	4
1.	概要	4
2.	産業	4
3.	主要都市	5
4.	移住地の概要	5
5.	日本人移住者の入植者数及び現在員数	9
IV	調査結果の概要	10
1.	人口の分布と構成	10
2.	教育	12
3.	就業状態	12
4.	生活状況	15
V	総括表	17
1.	家族人数表	17
2.	国籍別人数表	17
3.	世代別人数表	18
4.	年令別、性別人数表	19
5.	出生地別人数表	21
6.	学歴別人数表	22
7.	就業別人数表	23
8.	家長の就業状況表	26
9.	生活状況表	28

ドミニカ共和国日系移住者実態調査地区別区分地図





ドミニカ (共) 国の日系人分布図





## I. 日本人のドミニカへの移住の歴史

外国人移住の発端は、当事政権の座にあったトルヒーリョ大統領がドミニカ(国)の経済の主軸である農業の開発計画の遂行・促進の見地から単に労働力の供給源としてのみならず、怠慢な国内農民に対する刺激剤として、また農業知識、技術の向上、生活水準の引上げを目的として外国人移住者を積極的に推進したもので、この企画のもとに計画移住として導入されたものは、スペイン人、ユダヤ人、ポルトガル人、ハンガリア人及び日本人である。

日本人移住の嚆矢は、親日家であるトルヒーリョ大統領の発意により、ドミニカ(国)農務大臣から吉田公使宛書簡をもって日本人受入れに関する条件(主たるものは、農耕地、住宅、家具、種子の提供、生活補助金の支給及び携行機械の免税措置等)の提示があり、当時としてはブラジル、パラグアイ等他国の受入条件より極めて好遇されたものであった。日本側はこれを受けて、1956年7月から1959年9月までの3ヶ年間に13回にわたり、8入植地に249家族1319名の農業移住者が入植した。そのうち5家族32名が漁業移住である。

しかし、ド国の国営入植地の多くのもが降雨量の少ない西南及び西北のハイチとの国境に設定されているため、国はかんがい施設に巨費を投じて農業用水の確保を図っているが、水量不足の上、配分された耕地内に礫が多く、かつ国内の市場も遠く、また、入植時約束された土地も上限面積の配分を受けられなかった。このため換地を希望する者が続出し、1959年5月までに、およそ50家族300名が転住したが、必ずしも満足すべき転住先ではなかった。

この様な時期にトルヒーリョ大統領の指示であったのではないかと云われているヴェネズエラ大統領暗殺未遂事件が発生し、1960年6月ド国政府は米州機構20ヶ国による外交断絶、経済封鎖等の制裁を受け、更に翌1961年5月には権力者であったトルヒーリョ大統領が暗殺されて極度の政情不安、経済、治安が悪化し、日本人移住者に対する迫害等が発生して移住者は動揺を来し、母国への帰国、南米への転住希望の陳情が激しくなった。

これに対し日本政府も内外に与える影響を考慮して、集団帰国と南米転住のあっせんを行ない、また、残留を希望する者に対し、営農資金の融資を実施して事態の收拾を図った。これにより、帰国した者133家族611名、南米への転住70家族376名、ド国残留者約45家族230名となった。

その後、若手軍人グループによる反乱があり、一時内線状態となったが、OAS軍の駐留、停戦協定、暫定政府の樹立を経て、1966年にはバラゲール政権が誕生、政情も安定化に向い、移住者も混乱期から脱出して現在に至っている。

移住後29年経過した現在、永住者、日系人を合せ671名の人達がいる。その半数が首都圏に集中し、かつ、農業に従事しているものは兼業農家を含めても日系人の49.3%を占めるだけとなった。

なお、入植以来発給されなかった地権もここ2年間に移住者の土地所有面積の80%が解決した。

## II. 調査の概要

### 1. 調査目的

事業団は移住者の現地での定着・安定のための援助業務を大きな柱としており、そのためには援助施策の対象となる移住者の移住先国における実態について可能な限り適確に把握しておく必要がある。

については、ドミニカ国においても実態を把握するため、日系人移住者、その配偶者およびその子供について家族状況、生活状況、生計維持状況等についての実態を調査した。

### 2. 調査方法

各調査地区の日本人会及び地区代表者により、実態調査委員会を設け、これを通じ調査用紙を各移住者に配布、記入されたものを回収。また散在地域については、各移住者に面接、内容聴取の上調査用紙に記入する聴取調査を行った。

### 3. 調査地域

サント・ドミンゴ地区（サント・ドミンゴ市及び近郊）

ダハボン地区（国営移住地、ダハボン市、ローマ・デ・カブレラ、ヴィジャ・バスケス）

ハラバコア地区（国営移住地、ハラバコア市）

コンスタンサ地区（コンスタンサ移住地、ビヒア地区、コンスタンサ市）

ラ・ベীগ地区（ラ・ベীগ市、ボナオ、ファンテーノ、リモン・デ・ジュナ）

北西地区（サンティアゴ市、マオ市）

サント・ドミンゴ南部（サン・クリストバル、パレンケ、バニー、アスア）

南部地区（サン・ファン、ビセンテ・ノーブレ、バラオーナ、アグア・ネグラ）

東部地区（ファン・ドーリオ、アート・マジョール、サバナ・デ・ラマール）

### 4. 調査時期

1985. 11. 5. ～ 1985. 12. 25

### 5. 調査機関

サント・ドミンゴ地区(1)	サント・ドミンゴ日本人会
サント・ドミンゴ地区(2)	サント・ドミンゴ日本人会連合会
ダハボン地区	ダハボン日本人会
ハラバコア地区	ハラバコア日本人会
コンスタンサ地区	コンスタンサ日本人会
ラ・ベীগ地区	ラ・ベীগ日本人会
北西地区	北西地区世話人
サント・ドミンゴ南部	サント・ドミンゴ南部世話人

南部地区  
東部地区

南部地区世話人  
東部地区世話人

6. 調査事項

家族状況

氏名, 年齢, 出生地, 国籍, 職業, 学歴, 滞在年数  
生活状況

渡航年月日, 入植時期, 住所, 住宅, 日常使用言語  
生活維持状況

給与生活者

事業所得者 (農業, 商業, 工業, その他)

その他



### Ⅲ. 地域の概況

#### 1. 概要

ドミニカ共和国は、カリブ海に浮ぶ西インド諸島の一つでイスパニオラ島の東 $\frac{2}{3}$ を占め、国土面積は九州の117%増で、西はハイチ共和国に接している。

国の東南部は原生代または古生代、西北部は第3紀または新生代に属し、サンゴ礁により形成されており、西部は山岳地帯で東部はほとんど平地地帯である。中西部に最も大きな中央山脈があり、最高峰はピコ・ドゥアルテで3175mを有する。その北に北部山脈、東には東部山脈が連なる。

これらの山脈・山岳を分水嶺として河川は南北に流れ、この河川の流域が肥沃な農牧地となっている。特に中央以北の平野をシバオと称しているが、この地帯は穀倉地区でもある。しかし、日本人が当初入植した地区は主に国の西部方面にあり、入植地としては余りよい条件のところではなかった。現在は、北西部のダハボンで米作、中央の高原盆地にあるハラバコアが米作と野菜、同じくコンスタンサで野菜づくりに従事しているが、約半数の者が首都サント・ドミンゴ市に出て来ている。

気候は亜熱帯性海洋気候で、サント・ドミンゴの年平均最高気温は30℃、最低気温は20℃、年平均降雨量は1310mm、緑の豊かな島である。特に、サンド・ドミンゴやダハボンなどは海岸に近く、標高が低いので夏季における日中の気温は相当高くなるが、夜間は比較的凌ぎ易い。ハラバコア(600m)やコンスタンサ(1300m)は高原盆地であるので、夏季の日中でも冷涼である。雨期区分は、はっきりしていないが比較的5・9月に雨が多く、7～10月には台風が来ることもある。

#### 2. 産業

この国の経済成長は再三にわたる動乱によって停滞し、またトルヒーリョ独裁時代に自由主義経済の基礎を破壊したことにより、その立ち直りが遅れたが、アメリカ援助を大きな支えとして、1979年のハリケーン襲来後、比較的高い経済成長を示した。しかし、1982年には砂糖の国際価格の急落等によりド国経済は極端に疲弊し、GDPは1.6%の伸びに止どまった。特に1982年4月には、ドルの平行相場が急騰して、物価上昇を招き、騒擾事件を引き起こした。なお、IMFの勧告もあってド国政府は、1985年1月23日から長年続いていた1ペソ1ドルの固定相場制を変動相場制に移行させた。

農林水産業の国内総生産に占める比率は、1960年32%、1970年22%、1970年17%と低下してきたが、1981年、1982年には僅かながら毎年増加している。なお、労働人口及び外貨獲得の約半数以上を農林水産業が占めており、その主なものは砂糖、カカオ、タバコである。その他では、総輸出額に占める比率が大きいものに鉱産品があり、その主要品目は、金・銀・フェロニッケル、ボーキサイトである。

日系人は、米(政府統制産品)と米国向け中華料理用野菜を主として生産しており、その他一部の者がスーパー用野菜栽培及び卸糖米業に雑貨商等を営んでいる。

### 3. 主要都市

#### (1) サント・ドミンゴ市

首都，人口195.6万人，ラテン・アメリカ諸国中最古の都市で，1496年にコロンブスの弟バルト・ロメ・コロンのによって建設された。1939年から61年までのトルヒーリョ独裁政権下の時にトルヒーリョ市と呼ばれたこともあるが，政権崩壊とともにふたたびサント・ドミンゴ市と称されるようになった。政治・経済文化の中心地で，中央官庁のほか，1538年創立された最古のサント・ドミンゴ大学，コロンブスの遺体を安置してある大寺院もあり，また，コロンブスの息子ディエゴ・コロンの総督が1510年に住んだ居城は現在コロンの博物館として有名である。

街は，コロンの総督が居住していた地域をコロニアルと呼び，土煉瓦で築造した2階建の家が今でも多数残っており，かつ，道路も狭く，いわゆる中南米の他の田舎街と同様なところである。

一方，一線を画して新市街地があって，米国の住宅地を思わせるような景観を呈しており，所々に大きなショッピングセンターがある緑の多い横に広い街並である。

#### (2) サンティアゴ市

この国第2の都市で人口約48万人，農業，商業，工業の中心地である。シャン，ラム酒やタバコなどの製造工場が多い。

### 4. 移住地の概要

#### (1) ダハボン移住地

ダハボンはこの国の西北部に位置し，ハイチとの国境地帯にある。当地区は国境地帯開発のために創設された国営移住地で，1956年（昭和31年）7月29日，28戸，185名の日本人移住者が，初めて入植した。最盛期には58戸が入植したがトルヒーリョ元帥暗殺による動乱，耕地と灌漑水の絶対量の不足等から転出者が続出した。現在は5戸が定住し，水稲を専業とし若干の牧畜を取り入れている。他の11戸はダハボン市に居住している。

#### (2) コンスタンサ移住地

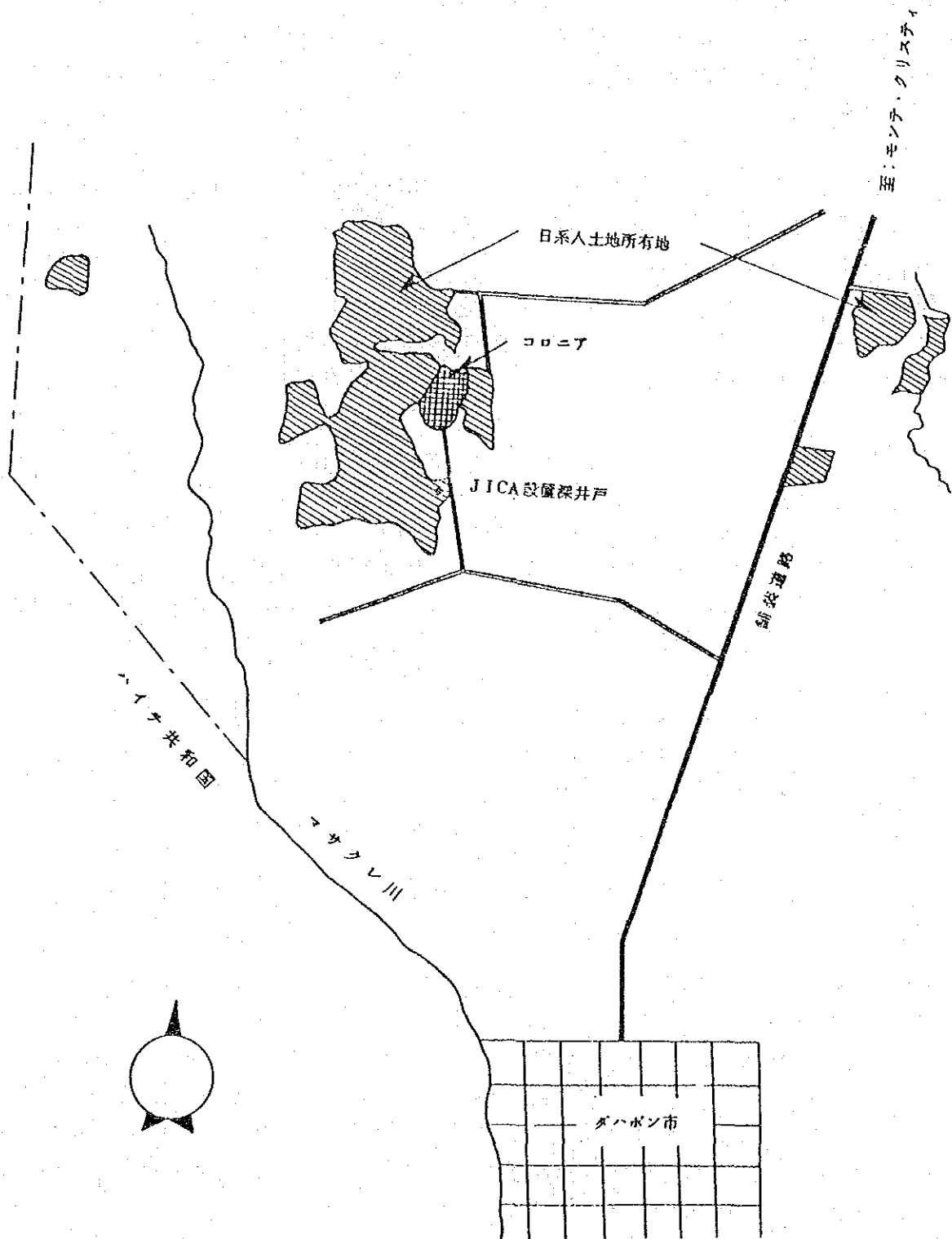
この国の東西に横たわる中央山脈の分水嶺地帯に近い山間の盆地にある。昭和31年に初めて日本人移住者17家族120名が入植し最盛期には35戸が入植している。しかし配分された耕地の不足と市場の狭少によって生産物が過剰となり，ハラバコア移住地に転住した。また動乱等により帰国ならびに南米転住者が続出した。現在の入植戸数は19戸となっており，蔬菜専業で（サヤエンドウ，ニンニク，カリフラワー，タマネギ，アスパラガス等）国内向はサント・ドミンゴ市の大手スーパーマーケットへ直売，また米国向け中華料理用野菜を輸出業者へ出荷している。

#### (3) ハラバコア移住地

この国の中央に位置するラ・ベガ県で中央山脈とシバオ平原の中間にあり気候にめぐまれ，交通の便も良い。1975年（昭和32年）にコンスタンサ移住地より転住者13戸により入植が始まった。気候が良い理由で転入者が多く一時は86家族までになったが，過剰入植と動乱から転出者が続出，現在入植戸数は10戸となっており，用水路の完成により水稲と蔬菜栽培（中華料理用野菜）を行っている。

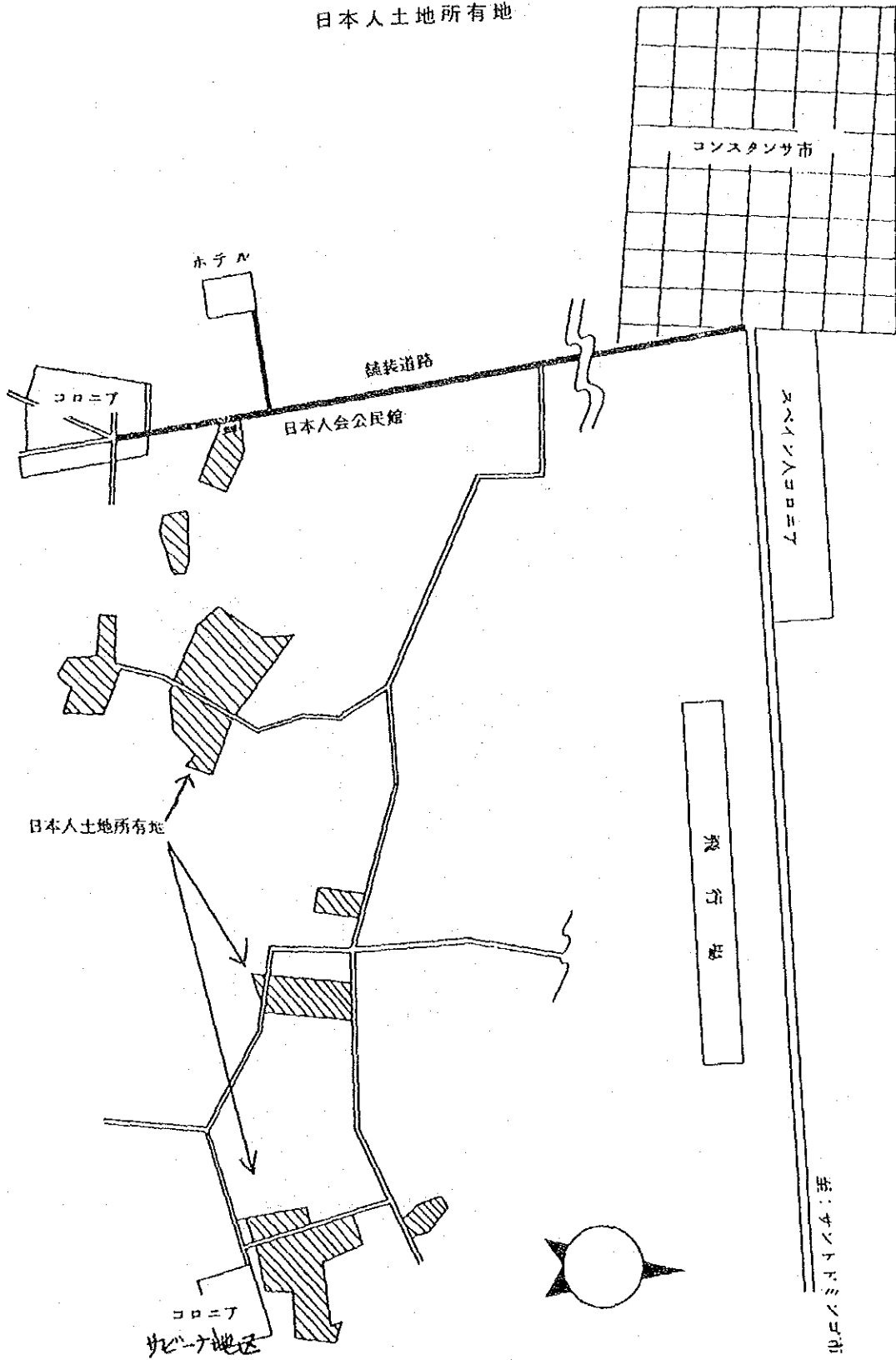
ダハボン 国営移住地

日系人土地所有図



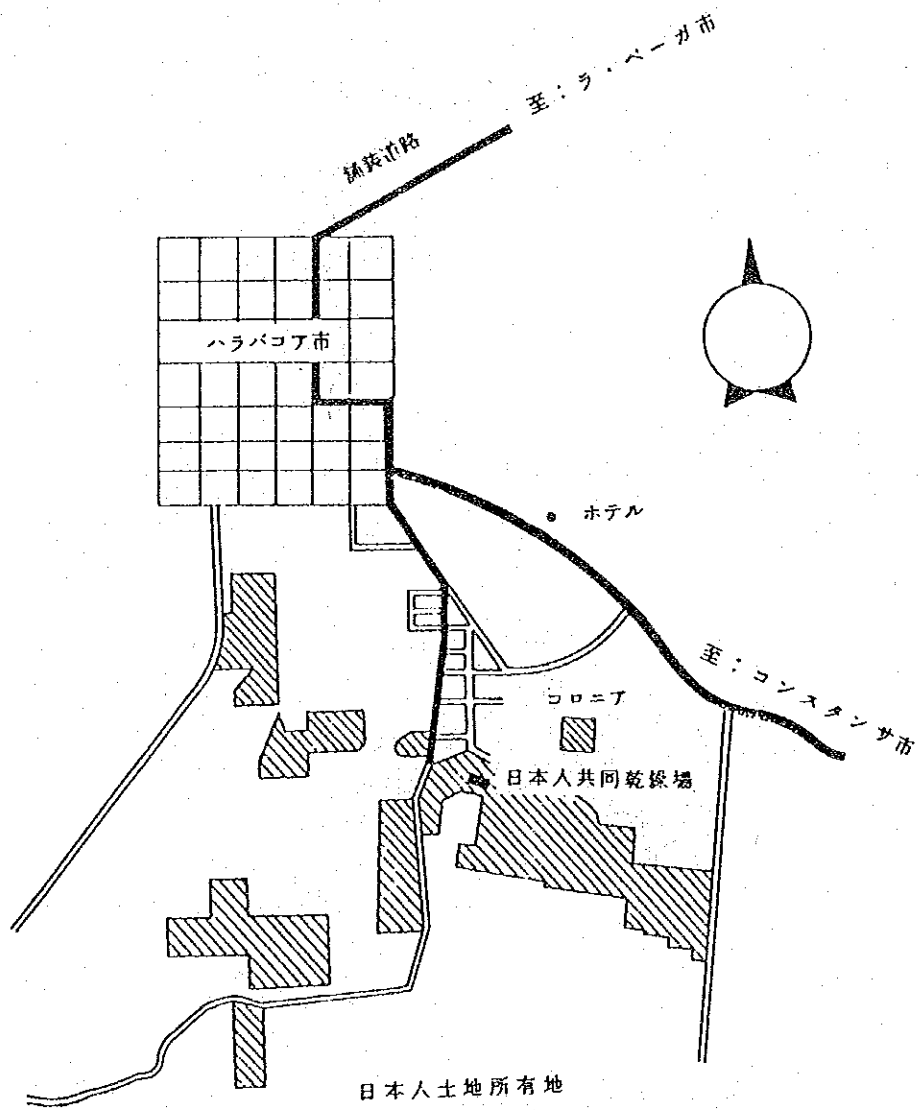
コンスタンサ園営移住地

日本人土地所有地



ハラバコア 国営移住地

日本人土地所有地



5. 日本人移住者の入植者数及び現在員数

地 区 名	当初入植者		現 在		備 考
	戸 数	人 数	戸 数	人 数	
ダハボン移住地	58	338	16	56	周辺地区を含む
コンスタンサ移住地	35	220	19	78	
マンサニーリヨ漁港	5	32			
ネイバ入植地	24	97			
ドゥベルヘ入植地	37	155			
ハラバコア移住地	16	87	10	47	
アグア・ネグラ入植地	57	315			
アルタ・グラシア入植地	17	75			
サント・ドミンゴ地区			65	239	
サンティアゴ地区			10	36	
ラ・ベエガ地区			20	91	
サント・ドミンゴ南部地区			18	75	
南 部 地 区			8	34	
東 部 地 区			3	15	
計	249	1319	169	671	

## IV 調査結果の概要

### 1. 人口の分布と構成

#### (1) 人口と分布

ドミニカ(国)の日系人総数は1985年12月25日現在169家族671である。

この人達は、1956年7月から1957年9月にかけて8ヶ所の入植地に、日本人海外移住者として入植した者と、その子孫、そして、その後僅かにおこなわれた呼寄移住で渡航した移住者と、その子孫であって、その他の渡航定着者とその子孫はいない。しかし、これ以外に日系人が家長で、その配偶者として日系人家族と生活を共にしているドミニカ人57人とその他の外国籍を有する者が4人合計61人おり、これを加えた732人がドミニカ(国)日系社会の構成員数と見ることが出来る。

日系人総数671人のドミニカ(国)における分布状況について見ると、9地区に区分された調査区の全域にわたり分布している。これを地区別密集度で見ると都市部のサント・ドミンゴ地区が最も多く239人で全体の35.6%をしめ、次いでハラバコア及びコンスタンサ移住地のあるラ・ベガ地区に216人、32.2%居住している。この両地区を合計した人数は455人となって、ドミニカ(国)日系人口総数の67.8%がこの両地区に居住し、残る3割はその他6地区に散在している。

#### (2) 年令, 世代, 性別

年令別人口構成について見ると、0～14才層の幼年人口225人が全人口の33.5%に当り、15～59才までの生産年令人口は385人で57.4%、そして60才以上のもの、即ち老年人口が61人で9%を占めている。従って、この年令構成から、生産年令人口に対する幼年人口の割合、すなわち幼年人口指数を求めると58.4%となり一方生産年令人口に対する老年人口の割合、すなわち老年人口指数は15.8%となる。また、老年指数、つまり幼年人口に対する老年人口の割合は27.1%であり、さらに幼年人口と老年人口の合計の生産年令人口に対する割合として求められる従属人口指数は74.3%となる。

次いで年令構成を男女別にみると、0～14才で男132人に対し、女93人と性比が大きく崩れており、15～59才層の生産年令人口では男211人、女174人で男が女より37人多い。60才以上の老年人口では男30人、女31人となって男女間差はない。(図1)

世代別を移住者を基点として二世及び三世に区分してその比率を見てみると二世世代が全体の54.9%で369人となり、最も大きな集団を示し、三世は全体の3.1%、21人で少ない。(図2)日本から渡航した移住者は全体の41.9%、281人であり、これを日本生れの移住者と、ドミニカ(国)生れの二、三世代と比べて見ると、移住者の41.8%に対し二、三世が58.1%となり世代交代が進みつつあることがわかる。

性別構成では男373人に対し、女298人で男が75人多い。これを年令階層別で見ると、最も性比のひらきの多い年令層は40～49才層で女26人に対し男47人と男が21人多く、次いで21～34才層が30人に対し、男48人と男が18人多い。この移住者世代にドミニカ人など外国人との交婚が多く男16人、女45人が国際結婚している。

#### (3) 出生地, 国籍別

图1. 日系人性别・年令別構成

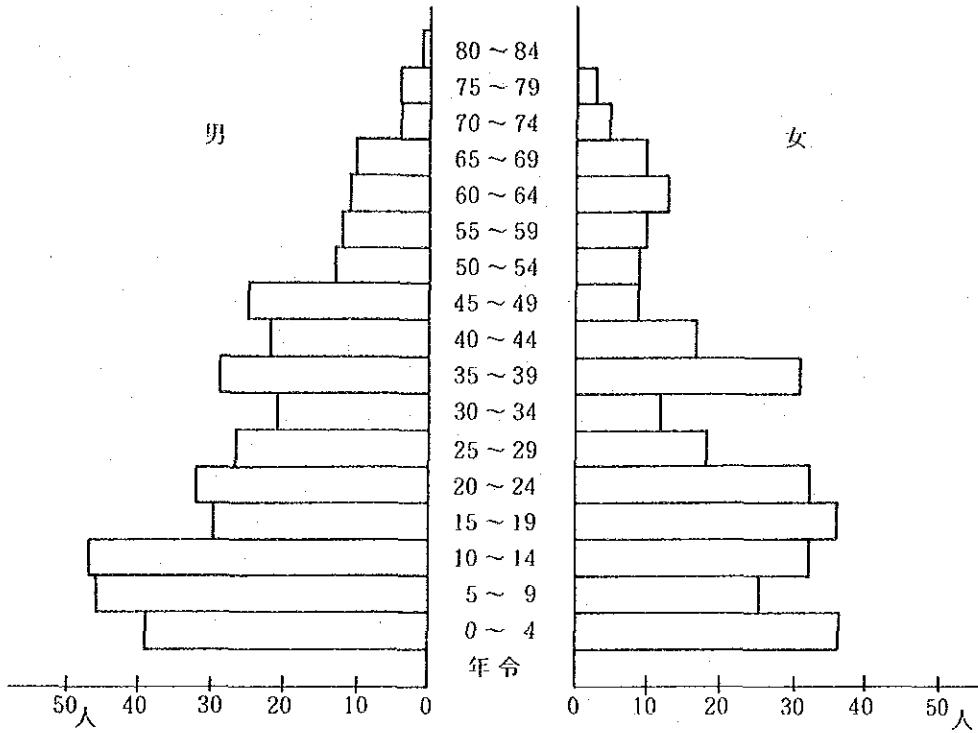
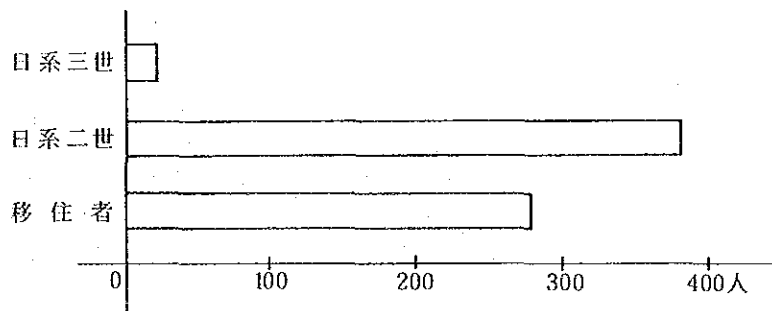


图2. 世代別構成





人口構成を出生地別に見ると、日本生れが281人で全体の41.8%、ドミニカ生れが58%とドミニカ生れが日本生れを16.2%上廻っている。日本生れは31才以上がほとんどで、20才以下に占める日本生れは呼寄移住によるものである。ドミニカ(共)国全日系人の国籍所有状況を見ると538人が日本国籍を有しており、ドミニカ(共)国籍所有者は、390人である。しかしドミニカ(共)国生れの日系人は日本とドミニカ両方の国籍を所有するものがおりこの数は257人である。

## 2. 教育

一世の人達の学歴は小学校が22.5%、中学校が29.2%、高校生が16.2%となっており、半数以上が小学校、中学校卒業もしくはその中途退学者である。また未記入が25%あった。

しかし、二世成人の60%以上が大学卒業あるいは大学生である。もちろん、働きながら大学に行っている人も多い。

### (1) 教育資格

小学校	6年	6才～11才	} 義務教育
中学校	2年	12才～13才	
高等学校	4年	14才～17才	
大学生		18才から	

### (2) 大学の資格

大学は4年～7年(学科により異なる)

1～2年	……………	技能者の資格
4年	……………	普通一般
5年	……………	技術者
6年以上	……………	医師、弁護士等

### (3) 日本語教育

JICAの助成により、日本語学校運営委員会が運営しており、現地教育のほか、日本からの派遣教師1名で指導している。

現在、土曜日、日曜日の午前中でサント・ドミンゴ市内で、30名～40名、ラベガ地区、ハラバゴア地区、ダハボン地区で10名～15名の生徒がいる。

目標としては、小学校6年生程度の国語の実力をつけることにある。

## 3. 就業状況

ドミニカ(共)国日系人の就業状況を15才以上の労働人口446人について見ると、(図3)何等かの形態で職業に従事している人口は284人で総労働人口の63.7%が就業しており、就業者が非就業者を13.7%上廻っている。これを男女別に見ると、全就業者の65.1%が男性で34.9%が女性である。(図4)

就業状態の内訳を見ると、ドミニカ(共)国日本人移住者のほとんどが農業移住者として出発したが、29年経過後の現在は、農業従事者が140人(49.3%)、非農業従事者144人(50.7%)で僅かに非農業従事者が多い。(図5)

図3. 生産年令別・性別構成

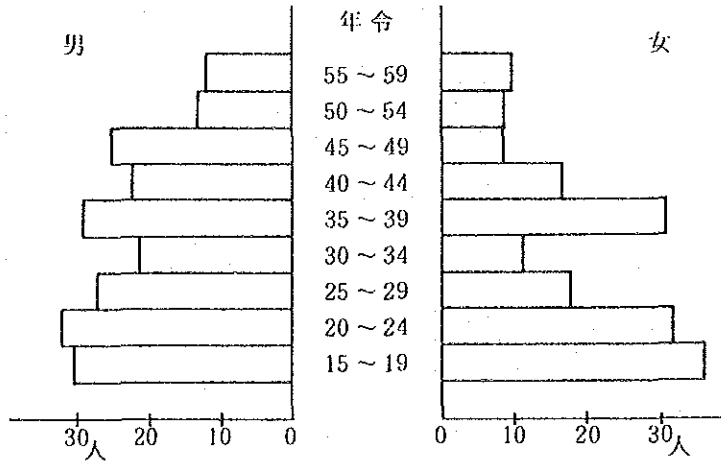


図4. 日系人数と就業者数の構成

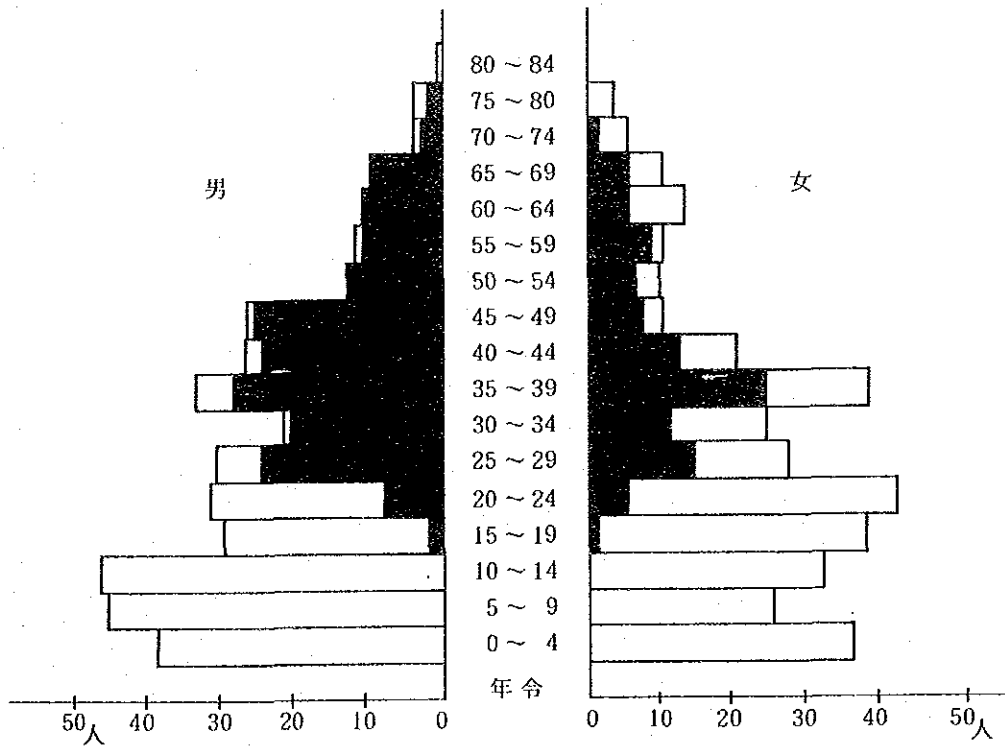
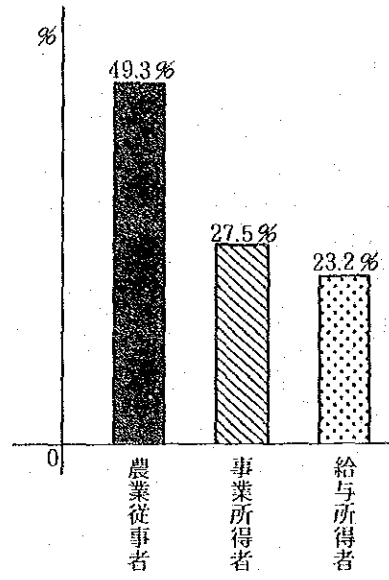


図 5. 就 業 形 態



#### (1) 農業従事者

農業移住者の種目的内訳では、自営農業者がほとんどで、中でも蔬菜栽培農業に従事する者が圧倒的に多く、農業従事者全体の74.3%を占めており、この中には蔬菜栽培農業と生産物の輸出版売業との兼業農家が含まれている。蔬菜農業以外では畑作、畜産、果樹等である。

#### (2) 事業所得者

事業所得者は78人(27.5%)で食品雑貨商、野菜輸出業、精米業等が多く、他は機械修理、製造業等雑多である。

#### (3) 給与所得者

給与所得者は66人(23.2%)で一般事務が断然多く32人(48.5%)をしめており次いで技術者11人(16.7%)公務員7人(10.6%)となっており、医師など比較的地位の高い職業に従事する層も出現している。

ドミニカ(国)日系社会の産業構成を家長の従事業種によって概観すると、全169戸の日系家族のうち67戸(39.6%)が農業を営んでおり、中でも蔬菜農家が最も多く全体の77.6%をしめており、その他畑作、果樹畜産等を営んでいる。

### 4. 生活状況

#### (1) 生活環境

ドミニカ(国)日系人の生活レベルを示す住宅状況と住宅設備としての電気、電話、水道、乗用車、テレビ、ビデオテープレコーダーの普及程度について見ると、日系人家族総数169戸の住宅事情では、一戸建住宅に居住する者140戸、アパート居住者21戸、その他未記入8戸で、このうち持家生活者は104戸で全体の61.5%に当り、未記入者を加えた借家生活者は65戸、38.5%であって、借家生活者はサント・ドミンゴ地区など都市生活者に多い傾向にある。

住宅設備及び生活資材状況を見ると、電気設備では未記入者の7戸を除き、ほとんどの家庭に電気があり、僅かに4戸で自家発電による電気を使用している。電話は62戸で36.7%が所有してある。水道設備は157戸、92.9%で高い普及率を示しており、衛生的な生活が確保されていると考えられる。乗用車の普及率を見ると82戸、48.5%が所有しており、この中には業務運搬車輛が含まれていないので、これを含めた自家用自動車の普及率はこれを大幅に上廻るものと考えられる。テレビは86.9%、ビデオテープレコーダー47.9%と高く、特にビデオテープレコーダーが2戸に1戸の割合で普及しており、ビデオを通じて今日の日本の現況を得ている日系人が多いように思われる。

#### (2) 言語等

日系人家族が日常生活で使用している言語は、どちらかと云うと日本語を使用している家族は27戸、16.0%で比較的少なく、スペイン語を主として使用し生活している家族が72戸、42.6%、日本語とスペイン語の両方を使用する家庭は61戸36.1%となっており、スペイン語を日常家庭生活で用いている家庭が最も多くなっているため、言語から見た日系人の現地同化は比較的進んでいる様である。反面、日本語を話せない二世、三世が多くなっ

ている。

新聞、雑誌の購読では、まったくいずれの新聞、雑誌も読まない層もあり、新聞では59戸34.9%、雑誌では91戸、53.8%が全然購読していない。購読層の内容を見ると、新聞では78戸、46.2%が現地新聞を、邦字新聞（出身県から無料で送られてくる地方紙が主）その他僅かに宗教関係新聞を購読していて、14戸、8.3%である。

また、雑誌では邦字一般雑誌と宗教雑誌34戸、20.1%あり、他は外国語雑誌12戸、7.1%である。

IV 総括表

1. 家族人数表 2. 国籍別人数表

地区	家族人数				計	日	日本	日/ド	ドミニカ		その他	小計	計	備考
	家族数	単身	身	ドミニカ(1)					ドミニカ(2)					
サント・ドミンゴ地区	62	255	3	258	107	95	37	239	17	2	19	258	中国人 スイス人	
ダハボン地区	16	60		60	29	22	5	56	4		4	60		
ハラバコア地区	10	50		50	24	10	13	47	3		3	50		
コンスタンサ地区	19	90		90	26	20	32	78	10	2	12	90	アメリカ人 スペイン人	
ラ・ベエガ地区	18	92	2	94	30	53	8	91	3		3	94		
北西地区	10	43		43	12	6	18	36	7		7	43		
サント・ドミンゴ南部	17	81	1	82	32	29	14	75	7		7	82		
南部地区	8	39		39	14	15	5	34	5		5	39		
東部地区	3	16		16	7	7	1	15	1		1	16		
計	163	726	6	732	281	257	133	671	57	4	61	732		

家族構成

家族構成の中にはドミニカ人の配偶者も含まれている。

国籍別

- 日本 → 永住者
- 日/ド → 両国の国籍を持つ日系人(二世, 三世を云う)
- ドミニカ(1) → ドミニカ国籍を持つ日系人(二世, 三世)
- ドミニカ(2) → ドミニカ人(配偶者)
- その他 → ドミニカ以外の国の人(備考欄)

3. 世代別人数表

地区	区分	移住者	二世	三世	小計	ドミニカ人	その他	計	備考
サント・ドミンゴ地区		107	124	8	239	17	2	258	中国人、スイス人
ダハボン地区		29	27		56	4		60	
ハラバコア地区		24	22	1	47	3		50	
コンスタンサ地区		26	51	1	78	10	2	90	アメリカ人、スペイン人
ラ・ベエーガ地区		30	58	3	91	3		94	
北西地区		12	23	1	36	7		43	
サント・ドミンゴ南部		32	39	4	75	7		82	
南部地区		14	18	2	34	5		39	
東部地区		7	7	1	15	1		16	
計		281	369	21	671	57	4	732	





(4) 家長の年令別

地区	20～24		25～29		30～34		35～39		40～44		45～49		50～54		55～59		60～64		65～69		70～		計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
サント・ドミンゴ地区			6	2	6	2	6	3	9	2	8		2	1	7		2		4	1	3	1	53	12	
ダハボン地区				1	2	1	2		2		3				3		3		2		1		15	1	
ハラバコア地区		1			1	2			1		3								1		1		10	5	
コンスタンサ地区			2		2		2	1		1	4				3				1				14		
ラ・ベエガ地区			2		2		2		5		1				1						1		20		
北西地区					1		1				1				1							1		9	1
サント・ドミンゴ南部			2		2		1		3		3				1				2				18		
南部地区						1	1	1	1	1	1								1				5	3	
東部地区								1	1		1												3		
計	1	1	13	2	15	6	20	6	22	3	24	-	12	1	12	1	11	-	11	1	7	1	147	22	

(5) 生産年令別

地区	15～19		20～24		25～29		30～34		35～39		40～44		45～49		50～54		55～59		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
サント・ドミンゴ地区	8	11	13	10	11	11	8	6	7	15	10	8	8	3	2	5	7	2	74	71
ダハボン地区	2	2			1	2	3	1	2	4	2		3					2	13	11
ハラバコア地区	3		1	3			1		5	2	1	1	3	1					14	7
コンスタンサ地区	7	6	4	3	4		2	3	2	1		3	4	1	1	2	3	1	27	20
ラ・ベエガ地区	1	10	5	10	3	2	2	1	2	3	4	1	2	3	5	1	1	3	25	33
北西地区	3	1	3	3	3		1		2	1		1	1		2	1		1	15	7
サント・ドミンゴ南部	3	3	4	3	4	2	3		5	1	3	3	3	1	1	1			29	14
南部地区	2	1	1		1	1		1	4	3	1	1	1					1	9	7
東部地区	1	2	1				1			1	1	1	1						5	4
計	30	36	32	32	27	18	21	12	29	31	22	17	25	9	13	9	12	10	211	174

5. 出生地別人数表

地区	出生地	鹿児島	高知	熊本	福島	山口	北摂道	広島	福岡	島根	愛媛	東京	神奈川	福井	徳島	山形	群馬	長崎	静岡	秋田	山梨	千葉	大分	長野	その他(1)	計
サント・ドミントン地区	22	17	10	5	8	6	13	4	5			2	4	1		1	3		1	1		1			3	107
ダハボン地区	12	17	1	1	7			2							1	1									1	29
ハラバコア地区	16		2	5	4	4	1								4						1				1	24
コンスタンサ地区	4		4	3	3	5			4				1											1	2	26
ラ・ベ-ガ地区	13	2	4	2	1	1					5					2										12
北西地区	7	4	3	2	1	1			1									2								32
サント・ドミントン南部	1	4	3	1	2	2						2		3									1			14
南部地区	75	49	24	22	21	14	14	11	5	5	4	5	5	5	4	4	3	2	2	1	1	1	1	1	6	280
東部地区																										7
計																										

その他(1)の出生地は  
 満州, 台湾, 樺太。  
 その他(2)の出生地は  
 ドミニカ以外の外国。

地区	出生地	ドミニカ	その他(2)	計	合計
サント・ドミントン地区	149	2	151	258	
ダハボン地区	31		31	60	
ハラバコア地区	26		26	50	
コンスタンサ地区	62	2	64	90	
ラ・ベ-ガ地区	65		65	94	
北西地区	31		31	43	
サント・ドミントン南部	50		50	82	
南部地区	25		25	39	
東部地区	9		9	16	
計	448	4	452	732	

6. 学歴別人数表

(1) 移住者

種 類 地 区	日 本 の 学 校					ド ミ ニ カ の 学 校					未 記 人	在 學 中	就 業 前					
	小 中 退	小 卒	中 中 退	中 卒	高 中 退	高 卒	大 卒	其 他	小 中 退	小 卒				中 中 退	中 卒	高 卒	大 卒	其 他
サント・ドミンゴ地区	1	9	4	20	3	7	2	3		3	1	4	7	6	1	34		2
ダハボン地区		6	2	7		3						2	2			7		
ハラバコア地区		3		5	1	5						2	3	1		1		1
コンスタンサ地区		2		12		3						3	1			4		1
ラ・ペーガ地区	1	12	1	2		2			2	1		2	2			7		
北西地区		2				2						1	1	3		4		1
サント・ドミンゴ南部		8	3	8		1						1	1		11			1
南部地区	4	4		2		2						1			1	1		1
東部地区		1		3		2						1			2			
計	6	47	10	59	4	25	2	3	5	6	1	13	17	10	1	71	4	2

(2) 二、三世

種 類 地 区	日 本 の 学 校					ド ミ ニ カ の 学 校					未 記 人	在 學 中	就 業 前				
	小 中 退	小 卒	中 中 退	中 卒	高 中 退	高 卒	大 卒	其 他	小 中 退	小 卒				中 中 退	中 卒	高 卒	大 卒
サント・ドミンゴ地区		1	4			4						5			4	87	29
ダハボン地区		2	1													12	12
ハラバコア地区				3								1				17	5
コンスタンサ地区				1		3									4	39	7
ラ・ペーガ地区	1	1	1	1		3						1			3	41	10
北西地区			1			3									3	14	6
サント・ドミンゴ南部		1	3													27	9
南部地区		2										1				12	4
東部地区																7	1
計	1	7	13	1	8	14	256	83									

7. 就業別人数表

(1) 農業

地区	種類	蔬菜		畑作		果樹		畜産		水産 (繁殖)		計
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
サント・ドミンゴ地区		23	1	1		1		1				25
ダハボン地区		1	7	4		1						13
ハラバコア地区		10	4	2		2						16
コンスタンサ地区		22		2		1						25
ラ・ベীগ地区		8	1	1								10
北西地区		5										5
サント・ドミンゴ南部		21		1		3						25
南部地区		10		4		3						17
東部地区		4										4
計		104	13	6	16	1						140

蔬菜内容：国内向け……にんにく、玉ねぎ、トマト、アスパラガス、

ブロッコリー、カリフラワー、じゃがいも、きゅうり。

輸出向け……なが豆、へちま、けうり、にが瓜、なす、

ひょうたん、サヤエンドウ、大根。

輸出用野菜は90%が米国へ10%がカナダに輸出している。

果樹栽培……アボカチ、メロン、コーヒー等

農業の年令別内訳

地区	年令 性別	15~19		20~24		25~29		30~34		35~39		40~44		45~49		50~54		55~59		60~64		65~69		70~74		75~79		計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
サント・ドミンゴ地区								1	1	2	2	3	3	3	4	2													17	8
ダハボン地区						3	1	2	1	1	1	1	1	1	1														9	4
ハラバコア地区		1			1			2	2	2	2	2	2	2	1														11	5
コンスタンサ地区			1			2		3	1	2	3	1	1	2	3	2													14	11
ラ・ベীগ地区														2	1	1													7	3
北西地区														1	1														3	2
サント・ドミンゴ南部					1				2	3	3	3	2	2	1														18	7
南部地区						1	1	1	2	3	3	2	1	1															9	8
東部地区									1				1																3	1
計		2	1	3	1	7	3	8	5	14	11	12	5	11	5	7	3	10	5	6	4	8	5	1	1	2		91	49	

(2) 事業所得者

地区	職業の種類																計		
	食雑	品貨	輸野	出菜	精米所	修工場	製造販売	店舗	病院	下飲	宿食	仕立業	会社経営	美容院	道場	写真屋		建築業	クリーニング
サント・ドミンゴ地区	7	5	1	6	4	4	2	1	3	3	1	3	1	2	1		1	1	38
ダハボン地区	3		3	1			2									1			10
ハラバコア地区			2	1															4
コンスタンサ地区	3							2					1						6
ラ・ベエガ地区	5		3					1							1				13
北西地区																			2
サント・ドミンゴ南部				1															2
南部地区	2																		2
東部地区	1																		2
計	21	12	9	9	4	4	4	4	3	3	2	3	2	2	2	1	1	1	78

事業所得者の年齢別内訳

地区	25~29		30~34		35~39		40~44		45~49		50~54		55~59		60~64		65~69		70~74		計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
サント・ドミンゴ地区	1	4	1	3	4	4	5	5	5		1	1	2		2	1					21	17	
ダハボン地区	1	1	1		1				2						1	2				1		8	2
ハラバコア地区			1		1				1													3	1
コンスタンサ地区	1				1		1	1	1	1												3	3
ラ・ベエガ地区	2		1		1		2	1	1		2			2						1		10	3
北西地区																						1	1
サント・ドミンゴ南部				1							1	1										1	1
南部地区					1																	1	1
東部地区					1																	1	1
計	5	5	4	3	8	8	8	7	11	1	3	2	2	3	4	1	1	1	2	2	48	30	

(3) 給与所得者

職業	職業の種類											計		
	一般事務	技術者	公務員	教師	師	管理人	美容師	医師	師	運転手	営業		販売	調理
地区														
サント・ドミンゴ地区	16	3	4	1	1	3	2	2	2		1		1	33
ダハゴン地区	1													1
ハラバコア地区	2		1											3
コンスタンサ地区	2	1							1					4
ラ・ベーターガ地区	4		1	1					1			1		8
北西部地区	3	3		2										8
サント・ドミンゴ南部	3	4												7
南部地区	1		1											1
東部地区														1
計	32	11	7	4	4	3	2	2	2	2	1	1	1	66

給与所得者の年齢別内訳

地区	20~24		25~29		30~34		35~39		40~44		45~49		50~54		60~64		65~69		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
サント・ドミンゴ地区	2	1	7	5	5	2		3	4	1			1	1					20	13
ダハゴン地区				1															1	2
ハラバコア地区		1					1			1									3	1
コンスタンサ地区		1	1				1					1							6	2
ラ・ベーターガ地区	1		1				1					1							7	1
北西部地区			1		2		2					1		1					7	7
サント・ドミンゴ南部			3		1		2		1										7	1
南部地区							1												1	1
東部地区	3	4	13	6	9	2	7	5	5	4	1	3	1	1	1	1	1	1	46	20
計																				

8. 家長の就業状況表

(1) 農業業者

地区	種類	蔬菜	畑作	果樹	畜産	水産	計
サント・ドミンゴ地区		10	1		1		12
ダハボソン地区		2	5		2	1	10
ハラバコア地区		5	1				6
コンスタンサ地区		11					11
ラ・ベレーガ地区		6					6
北西部地区		2					2
サント・ドミンゴ南部地区		11		1			12
南部地区		4		3			7
東部地区		2					2
計		52	7	4	3	1	67

(2) 事業所得者

地区	種類	食品雑貨商	輸野菜	精米所	修理工	製販	造売	病院	会社経営	下飲	宿食	店舗	仕立業	美容院	道場	写真屋	建築	クリーニング	大工	計
サント・ドミンゴ地区		3	4	2	2	4	4	1	1	2	2	1	1	2	1		1	1	1	27
ダハボソン地区			3		1		1					1				1				6
ハラバコア地区			1	1	1															3
コンスタンサ地区		2						1	1											4
ラ・ベレーガ地区		2	5	2																9
北西部地区															1					1
サント・ドミンゴ南部地区		1	1																	1
南部地区																				1
東部地区																				1
計		8	14	5	4	4	4	2	2	2	2	2	1	2	2	1	1	1	1	52

(3) 給与所得者

地区	種類	一般事務	技術者	公務員	教師	管理人	美容師	医師	運転手	調理師	計
サント・ドミントン地区	地区	7	6	2		2	1	1		1	20
ダハボン地区	地区										0
ハラバコア地区	地区										0
コンスタンサ地区	地区		1						1		2
ラ・ベーターガ地区	地区	4							1		5
北西地区	地区	3	3		1						7
サント・ドミントン南部	南部	2	3								5
南部地区	地区			1							0
東部地区	地区										1
計		16	13	3	1	2	1	1	2	1	40



9. 生活状況表

(1) 住宅、電気、電話等

戸数

地区	種類	住宅(一戸建)		アパート		登記人	電		登記人	水		登記人	乗用車		登記人
		持家	借家	持家	借家		電灯	自電		有	無		有	無	
サント・ドミンゴ地区	区	26	20	5	10	4	60		5	60		6	36	23	6
ダハボン地区	区	13	3				16			15	1	6	9	7	
ハラバコア地区	区	9	1				10			10		6	1	9	
コンスタンサ地区	区	14	4			1	18		1	18		1	5	13	1
ラ・ベ-ガ地区	区	13	4		1	2	18	2		16	2	2	8	10	2
北西地区	区	1	3	3	2	1	9		1	9		1	6	3	1
サント・ドミンゴ南部	区	10	8				18			18		1	10	8	
南部	区	8					6	2		8			6	2	
東部	区	2	1				3			3			1	2	
計		96	44	8	13	8	158	4	7	157	3	16	82	77	10

地区	種類	テレビ		登記人	ビデオテープレコーダー		登記人
		白黒	カラー		有	無	
サント・ドミンゴ地区	区	26	40	8	37	23	5
ダハボン地区	区	8	4		5	11	
ハラバコア地区	区	7	2	1	2	8	
コンスタンサ地区	区	9	10		15	3	1
ラ・ベ-ガ地区	区	8	8	2	10	8	2
北西地区	区	5	4	1	7	2	1
サント・ドミンゴ南部	区	11	5	2	2	16	
南部	区		8		2	6	
東部	区	1	1	1	1	2	
計		75	82	11	81	79	9

(2) 言語状況

戸数

地区	地域言語		日本		ドミニカ		ドミニカ生れ		計					
	日	日/ス	ス	未記入	日	日/ス	ス	未記入	日	日/ス	ス	未記入	計	
	日	日/ス	ス	未記入	日	日/ス	ス	未記入	日	日/ス	ス	未記入	計	
サント・ドミンゴ地区	10	19	3	3	2	6	18	1	2	12	25	23	5	65
ダハボン地区	3	5	2			3	3			3	8	5		16
ハラバコア地区	2	3	1		1	1	2			3	4	3		10
コンスタンサ地区	1	5	3			2	4	1	3	1	7	10	1	19
ラ・ベエーガ地区	3	4	3	1		1	5	1	2	3	5	10	2	20
北西部地区	1	1	2	1		1	3		1	1	2	6	1	10
サント・ドミンゴ南部	3	5	4				4	2	2	3	5	10		18
南部地区		2	1		1		4			1	2	5		8
東部地区		2				1					3			3
計	23	46	19	5	4	15	43	3	10	27	61	72	9	169

日本 : 家長もしくは渡航当時15才以上の者

ドミニカ : 渡航当時15才以下の者

ドミニカ生れ : ドミニカ共和国生れの日系人

日 : 日本語

日/ス : 日本語とスペイン語

ス : スペイン語

(3) 新聞

戸数

地区	日				本				ドミニカ				ドミニカ生れ				計								
	邦字		現地		読まない		未記入		現地		読まない		未記入		邦字		現地		読まない		未記入		計		
	邦字	現地	読まない	未記入	現地	読まない	未記入	邦字	現地	読まない	未記入	邦字	現地	読まない	未記入	邦字	現地	読まない	未記入	邦字	現地	読まない	未記入	計	
サント・ドミンゴ地区	5	17	7	6	22	1	4	2			1				1	5	41	8		11				65	
ダハボン地区	5	1	4		4	2					2					5	5	6						16	
ハラバコア地区		2	4		1	3											3	7						10	
コンスタンサ地区	1	6	1	1	1	5	1	2			1					1	9	7		2				19	
ラ・ベータガ地区	2	2	6	1	2	4	1				2					2	4	12		2				20	
北西地地区		2	1	2	3	1		1									6	2		2				10	
サント・ドミンゴ南部地区	1	5	6		2	2					2					1	7	10						18	
南部地区		1	2		1	4					4					2	2	6						8	
東部地区				1	1	1					1						1	1			1				3
計	14	36	31	11	37	23	6	5	5	5	1	14	78	59	18	169									

(4) 雑誌類

地区	日				本				ドミニカ				ドミニカ生れ				計									
	邦字		現地		読まない		未記入		邦字		現地		邦字		現地		邦字		現地		邦字		現地		計	
	邦字	現地	読まない	未記入	邦字	現地	読まない	未記入	邦字	現地	読まない	未記入	邦字	現地	読まない	未記入	邦字	現地	読まない	未記入	邦字	現地	読まない	未記入	計	
サント・ドミンゴ地区	9	1	15	10	4	7	9	7			2					13	8	26		18					65	
ダハボン地区	1		9		1		5									2		14							16	
ハラバコア地区	1		5		1		2	1								2		7		1					10	
コンスタンサ地区	4		3	2			6	1			1					4		10		5					19	
ラ・ベータガ地区	4		6	1	1		4	2			2					5		12		3					20	
北西地地区	1		1	1			1	2								2	3	2		3					10	
サント・ドミンゴ南部地区	4		7	1			3				2					4	1	12		1					18	
南部地区			3		1		4				4					1		7							8	
東部地区				1	1	1					1					1		1		1					3	
計	24	4	49	16	9	8	35	13	7	3	34	12	91	32	169											







JICA